

神奈川県建築安全協会 フラット35対応仕様確認書【枠組壁工法】

記載例

建物の名称	○○○○○邸新築工事
-------	------------

【使用上のご注意】

1. 本確認書は、独立行政法人住宅金融支援機構 住宅技術基準実施細則に基づき、技術基準を整理したものです。
2. 建物の「構造」に基づき、実施する各項目の「適合確認欄」及び「仕様確認欄」のチェックボックスに☑を記入してください。
3. 当仕様確認書によらずその性能を確保する場合、「特記事項」にその項目、内容等について記載の上、別途資料を添付してください。
4. フラット35Sをご利用の場合は、別途「設計内容説明書」に必要事項を記載したものを添付してください。
5. 戸建形式は「一戸建て」に限りご利用頂けます。連続建て、及び界壁、界床のある連続建て、重ね建てには、当仕様確認書はご利用頂けません。

基本事項		基準等	
住宅部分の床面積	<input checked="" type="checkbox"/>	70㎡以上 ※確認申請書第3面11欄【ル. 住宅の部分】の面積が70㎡以上(車庫や店舗・事務所等の非住宅部分は含まれません)	
構造	<input checked="" type="checkbox"/>	木造(耐久性あり)	
	<input type="checkbox"/>	準耐火 (<input type="checkbox"/> イ準耐 <input type="checkbox"/> ロ準耐 <input type="checkbox"/> 省令準耐※)	
	<input type="checkbox"/>	耐火	※機構承認住宅(省令準耐火構造タイプ)の場合は、別途承認特記仕様書等を提出してください
フラット35Sの基準の適用	<input type="checkbox"/>	あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
	フラット35S適用基準	金利Bプラン	金利Aプラン
特記事項	特記すべき事項があれば記入してください。		

フラット35Sをご利用の場合は、該当する適用基準を選択し、別途、住宅金融支援機構書式「設計内容説明書」に必要事項を記載したものを添付してください。その際、「設計内容」欄も必ず記載してください。また、図面にもその内容を明示してください。

項目	仕様確認欄☑		適合確認欄☑
	構造	仕様が適合	
基礎の高さ	<input checked="" type="checkbox"/>	地面からの基礎上端(又は土台下端)まで	<input checked="" type="checkbox"/>
床下換気	<input checked="" type="checkbox"/>	床下換気孔(基礎外周部に有効換気面積) <input checked="" type="checkbox"/> 基礎パッキン(外周部全周にわたり1m)	<input checked="" type="checkbox"/>
床下防湿	<input checked="" type="checkbox"/>	防湿用コンクリート(60mm以上) <input type="checkbox"/> 防湿フィルム(0.1mm以上) <input checked="" type="checkbox"/> ベタ基礎	<input checked="" type="checkbox"/>
基礎断熱工事(基礎断熱工法に限る)	<input checked="" type="checkbox"/>	断熱材の施工位置 <input type="checkbox"/> 基礎内側 <input type="checkbox"/> 基礎外側 <input type="checkbox"/> 基礎内外 断熱材の性能 <input type="checkbox"/> 必要な熱抵抗値 0.6(m ² ・k/W)以上を確保	<input checked="" type="checkbox"/>
土台の防腐・防蟻措置	<input checked="" type="checkbox"/>	床下防湿・防蟻措置 <input type="checkbox"/> 防湿フィルム等(0.1mm以上) <input type="checkbox"/> コンクリート打設(※) <input type="checkbox"/> ベタ基礎(※) (※100mm以上)	<input checked="" type="checkbox"/>
土台以外の木部の防腐・防蟻措置	<input checked="" type="checkbox"/>	土台 <input type="checkbox"/> ヒノキ、ヒバ等 <input checked="" type="checkbox"/> K3相当の防腐・防蟻処理材 水切り ・土台に接する外壁下端に設置	<input checked="" type="checkbox"/>
床下地面の防蟻措置	<input checked="" type="checkbox"/>	GL+1m以内の外壁の枠組 <input type="checkbox"/> ヒノキ、ヒバ等 <input type="checkbox"/> 外壁通気工法 (土台水切り部から <input type="checkbox"/> 軒天井見切り縁 <input type="checkbox"/> 天井裏を経由し小屋裏換気孔 に通気) <input checked="" type="checkbox"/> 薬剤処理材 (所定の薬剤による <input type="checkbox"/> 工場処理材 <input checked="" type="checkbox"/> 現場塗布等)	<input checked="" type="checkbox"/>
浴室等の防水措置	<input checked="" type="checkbox"/>	GL+1m以内の外壁下地材 所定の防腐防蟻工場処理材、又は薬剤現場塗布したものとし、かつ下記のいずれか <input checked="" type="checkbox"/> JAS構造用合板 <input type="checkbox"/> JISA5908パーティクルボードのPタイプ <input type="checkbox"/> JAS構造用パネル <input type="checkbox"/> JISA5905MDFのPライプ	<input checked="" type="checkbox"/>
断熱工事	外気等に接する部位	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	断熱性能	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	防湿材の施工	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ユニットバス下部(地面に接する場合に限る)	<input checked="" type="checkbox"/>	構造種別: 木造(耐久性あり)の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 下部断熱仕様 <input type="checkbox"/> 下部基礎断熱(断熱材熱抵抗値0.6以上) 構造種別: 準耐火・耐火の場合 <input type="checkbox"/> 下部断熱仕様 <input type="checkbox"/> 下部床下換気なし(気密パッキン等)	<input checked="" type="checkbox"/>
小屋裏換気(下屋、ルーファバルコニー含む)	<input checked="" type="checkbox"/>	換気孔の設置 独立した小屋裏ごとに2箇所以上、換気に有効な位置に設ける(屋根断熱は除く) 換気孔の有効換気面積 <input type="checkbox"/> 屋根断熱 <input type="checkbox"/> 両妻壁に換気孔(1/300以上) <input type="checkbox"/> 軒裏換気孔(1/250以上) <input type="checkbox"/> 排気筒(1/1600以上)、吸気孔(1/900以上) <input type="checkbox"/> 吸気孔、排気孔(各1/900以上)、かつ垂直距離900以上 <input checked="" type="checkbox"/> 吸気孔(1/900以上)、排気孔(1/1600以上)	<input checked="" type="checkbox"/>
点検口の設置(給排水設備)	<input checked="" type="checkbox"/>	炊事室の給排水その他の配管設備(配電管・ガス管を除く)の点検又は清掃等を行うために必要な開口の設置	<input checked="" type="checkbox"/>
換気設備の設置(浴室等)	<input checked="" type="checkbox"/>	炊事室、浴室及び便所への、機械換気設備又は換気のできる窓の設置	<input checked="" type="checkbox"/>

仕様が適合
※主に選択が必要な技術基準のみを記載しています。記載項目以外の内容も必ずご確認ください。
構造欄の該当する構造(木造(耐久性あり)、準耐火、耐火)種別により、●印があるも項目が必須となります。
準耐火、耐火構造の場合は、構造の「準耐火・耐火」欄に●印のある仕様確認欄の☑が必要です。

項目	構造		仕様確認欄
	木造 耐火・耐久 性	耐火・耐久 性	
45分準耐火構造(イ準耐)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<p>仕様確認欄</p> <p>※主に選択が必要な技術基準のみを記載しています。記載項目以外の内容も必ずご確認ください。</p>
1時間準耐火構造(ロ準耐)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
耐火構造	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<p>省令準対を除く準耐火、耐火構造の場合は、この欄のチェックボックスに☑を記入し、別途(準)耐火リストを添付してください。</p>			<p>特記による(準耐火リスト等添付)</p> <p>建築基準法告示及び大臣認定による不燃材料で造る又は葺く場合は、「不燃材料」を選択してください。</p>
	屋根	<input type="checkbox"/> 不燃材料 <input type="checkbox"/> 屋外に面する部分を準不燃材料で造った準耐火構造 <input type="checkbox"/> 左記以外の大臣認定 <input type="checkbox"/> 耐火構造の屋外面に断熱材及び防水材を張ったもの ※下屋、ルーフバルコニー部分含む	
	外壁・軒裏	<input type="checkbox"/> イ. 鉄網モルタルt20以上 <input type="checkbox"/> イ～ニ以外の場合、 <input type="checkbox"/> ロ. (木毛セメント板又はPB貼り) + モルタルt15以上 <input type="checkbox"/> 防火構造(平成12年建設省告示第1359号) <input type="checkbox"/> ハ. モルタル+タイル 計t25以上 <input type="checkbox"/> 大臣認定による防火構造 <input type="checkbox"/> ニ. (セメント板又はかわら張り) + モルタル 計t25以上	
	内壁等★	<p>外壁の室内に面する壁(独立柱含む)</p> <input type="checkbox"/> PBt12以上 <input type="checkbox"/> 強化PBt12以上 <input type="checkbox"/> PBt9.5以上×2枚張 <input type="checkbox"/> 防火構造 <p>間仕切壁(独立柱含む)</p> <input type="checkbox"/> PBt7以上+プラスター塗りt8以上 <input type="checkbox"/> PBt12以上 <input type="checkbox"/> 強化PBt12以上 <input type="checkbox"/> PBt9以上×2枚張 <input type="checkbox"/> 防火構造	
		<p>内壁の壁張り ※以下の項目をすべて満たすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火被覆材の目地は、原則として、枠組材部分に配置することとし、これによらない場合は、目地の裏面に38mm×40mm以上の受け材を入れ、四周にくぎ打ちできるようにする 1枚張りの場合 (2枚張りの場合を除く) <ul style="list-style-type: none"> 留付けに用いるくぎ又はねじは、①GNF40 ②SFN45 ③長さ32mm以上、径3.8mm以上のWSN ④長さ30mm以上、径4.2mm以上のDTSN(頭部トランペットに限る)のいずれかとする 留付け間隔は、耐力壁:外周部100mm以内、中間部200mm以内、支持壁又は非耐力壁:外周部及び中間部とも、それぞれ200mm以内とする 2枚張りの場合 (1枚張りの場合を除く) <ul style="list-style-type: none"> 1枚目壁ボードの留付けに用いるくぎ及び留付方法は、1枚張りと同様 2枚目壁ボードの留付けに用いるくぎ又はねじは、①GNF50 ②SFN50 ③長さ50mm以上、径2.5mm以上のスクリーネイル又はリングネイル④長さ32mm以上、径3.8mm以上のWSN ⑤長さ30mm以上、径4.2mm以上のDTSN(頭部トランペットに限る)のいずれかとする 留付け間隔は、外周部及び中間部とも、それぞれ200mm以内 張り方は、壁の外周部を除き、1枚目壁ボードの目地と2枚目壁ボードの目地が一致しないようにする 	
天井等★	<p>上階に床がない部分の天井</p> <input type="checkbox"/> PBt12以上 <input type="checkbox"/> 強化PBt12以上 <input type="checkbox"/> PBt9以上+ロックウール化粧吸音板張りt9以上 <input type="checkbox"/> PBt9以上×2枚張		
	<p>上階に床がある部分の天井</p> <input type="checkbox"/> PBt12以上の場合 <input type="checkbox"/> 直張り天井(上階の床根太に天井の下地材料を直接張り付ける天井) <input type="checkbox"/> 吊り木と野縁を用いた吊り天井 野縁は、30mm以上×38mm以上又は35mm×35mm以上の木材とする。床根太の直下に床根太と平行して野縁を設け、床根太下面と野縁上面の間隔は10mm以下とし、天井下地材料の天井裏面には、ロックウール24Kt50以上、GW24kt50以上、又はGW10Kt100以上のいずれかを用いて充填する。 <input type="checkbox"/> 天井根太を用いた吊り天井 天井根太は、38mm×89mm以上の木材とし、床下張り材から離し、かつ、床根太と天井下地材が離れるように天井根太の下面を床根太の下面より下げて50cm以内の間隔で取り付ける。床根太と床根太との間には、ロックウール24Kt50以上又はGW24Kt50以上、又はGW10Kt100以上のいずれかを用いて充填する。 <input type="checkbox"/> PBt12以上以外の場合 <ul style="list-style-type: none"> 下地材 <input type="checkbox"/> 強化PBt12以上 <input type="checkbox"/> PBt9以上×2枚張 <input type="checkbox"/> PBt9以上+ロックウール化粧吸音板張りt9以上 下地材料の裏面又は目地部分に下記のいずれかの措置を講ずる(2枚張りは目地が一致する部分のみ) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 下地材料の裏面にロックウール24Kt50以上、GW24Kt50以上、又はGW10Kt100のいずれかを用いて充填 ◆ <input type="checkbox"/> 下地材料の目地部分に当て木(30mm×38mm(又は35mm×35mm)以上の木材若しくは鋼材又は厚さ0.4mm×幅90mm以上の鋼板)を設ける ◆ 		
	<p>天井の構成</p> <input type="checkbox"/> 1枚張りの場合 ※以下の項目をすべて満たすこと <ul style="list-style-type: none"> 留付けに用いるくぎ又はねじは、下記のいずれかとする ①GNF40 ②SFN45 ③長さ32mm以上、径2.5mm以上のスクリーネイル又はリングネイル ④長さ28mm以上の木ねじ又はタップねじ ⑤長さ32mm以上、径3.8mm以上のWSN ⑥長さ30mm以上、径4.2mm以上のDTSN(頭部トランペットに限る) ⑦①～⑥と同等以上の品質及び寸法の留め金具 留付け間隔 外周部(根太に直交張り:150mm以内、根太に平行張り:100mm以内)、中間部(200mm以内) <input type="checkbox"/> 2枚張りの場合 ※以下の項目をすべて満たし、目地が一致しないようにすること(一致する部分には、上記◆印の断熱材又は◆印の当て木を設置すること) <ul style="list-style-type: none"> 1枚目ボードの留付けに用いるくぎ又はねじは、1枚張りと同様とし、留付け間隔は、外周部及び中間部とも、それぞれ300mm以内とする 2枚目ボードの留付けに用いるくぎ又はねじは、①長さ50mm以上、径2.5mm以上のスクリーネイル又はリングネイル、WSN又はDTSN ②長さ40mm以上の木ねじ又はタップねじ ③①～②と同等以上の品質及び寸法の留め金具のいずれか(PBt9.5×2枚張りの場合は、GNF50、SFN50を使用可) 留付け間隔 外周部(根太に直交張り:150mm以内、根太に平行張り:100mm以内)、中間部(200mm以内) 		
その他の措置等★	<ul style="list-style-type: none"> 防火被覆材の目地処理は防火上支障がないよう処理する ※すべての項目を満たすこと 防火被覆を貫通し設備器具を取付ける場合、当該器具又は当該器具裏面を、空隙が生じないよう不燃材料又は準不燃材料で造り又は覆う 防火被覆を部分的に貫通して取付ける木材の寸法は、防火被覆の貫通方向に厚さ30mm以上とし、目地及び取合い部分には、30mm以上×38mm以上又は35mm×35mm以上の当て木を設置する 床又は天井と壁及び壁と壁との取合部には、ファイヤーストップ材を設け、その仕様は、次の全てを満たすこと(ただし、上階に床の無い部分の天井については、ファイヤーストップ材を省略することができる) <ul style="list-style-type: none"> 頭つなぎ等の上部には連続してファイヤーストップ材を設け、その材料は次のいずれかとする <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 床根太、床根太と同寸以上の床梁又はころび止め <input type="checkbox"/> PBt12以上又は強化PBt12以上 <input type="checkbox"/> ロックウール24Kt50以上、GW24Kt50以上、又はGW10Kt100以上 壁の仕様は、下枠から頭つなぎ等壁を構成する上部の横架材まで施工する 使用材料について、日本産業規格または日本農林規格の指定があるものは、それぞれの規格に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする 		
<p>★:室内の独立柱及び、浴室(ユニットバスの場合も含む)、洗面脱衣室、便所、玄関、廊下、物入れ、階段下収納部位等も含む</p>			

省令準耐火構造

省令準耐火の場合は、チェックボックスに☑を記入し、仕様確認欄の該当項目を選択してください。